

各報道機関 担当記者 殿

令和4年2月7日

## トキと人が共に生きる能登地域を目指して 金沢大学が勉強会を開催

金沢大学は2月19日（土）13：30からオンライン（Zoom）にて、能登でトキと共生するための勉強会「トキと人が共に暮らすことのできる能登の地域づくりとは？」を開催します。

金沢大学は2006年から金沢大学能登学舎を拠点に「能登里山里海 SDGs マイスタープログラム」などの地域人材育成に取り組んできました。これらは「能登にトキよ再び」をキーワードに地域と共に里山里海の再生を目指したことに端を発します。

当日は環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室長、珠洲市自然共生室の연구원および金沢大学准教授による講演、ならびに珠洲市内でトキとの共生を目指した地域づくりや環境保全型農業に取り組む地域グループによる事例紹介などを行った後、地域づくりについての意見交換を行います（プログラムの詳細は別紙1をご参照ください）。

本勉強会は金沢大学「能登里山里海 SDGs マイスタープログラム」のwebサイトから参加申し込みが可能です。申し込み締め切りは2月13日（日）です。

ついては、事前および当日の取材・報道をよろしく申し上げます。

### 「トキと人が共に暮らすことのできる能登の地域づくりとは？」

日時：令和4年2月19日（土） 13:30～15:00

場所：オンライン（Zoom）※関係者は金沢大学能登学舎（珠洲市小泊33-7）

※プログラムの詳細は別紙1をご参照ください。

<本件に関する問い合わせ先>

金沢大学 能登学舎 岸岡 智也

連絡先 TEL：0768-88-2568

E-mail: t.kish@staff.kanazawa-u.ac.jp

奥能登でトキと暮らすための勉強会

「トキと人が共に暮らすことのできる能登の地域づくりとは？」

■日時：2022年2月19日（土）13:30-15:00

■会場：Zoom オンラインシステム / 金沢大学能登学舎（珠洲市三崎町）

■主催：能登里山里海 SDGs マイスター運営委員会

趣旨：

2011年に世界農業遺産「能登の里山里海」として認定された能登半島は、佐渡島とならんでトキが最後まで生息していた場所として知られています。2011年以降、計7回に渡ってトキが珠洲市に飛来・滞在してきました。さらに近年コウノトリの飛来も毎年のように記録されており、希少鳥類が生息し野生復帰をしていく上で重要な場所であるといえます。トキが能登地域で人々とともに暮らしていくための環境の保全・再生には、農地や里山を支えてくれている地域の方々の理解や協力も不可欠です。トキと人が共に暮らす地域づくりにはなにが必要かについて、関係者と一緒に考えます。

## 【プログラム】

### **開会挨拶・趣旨説明**（10分）

「能登の里山里海が支える生き物の暮らし」

岸岡 智也（金沢大学 先端科学・社会共創推進機構（金沢大学能登学舎） 研究員）

### **講演**

「トキの野生復帰の取り組みと未来」（20分）

山本 麻衣 氏（環境省自然環境局野生生物課 希少種保全推進室長）

「トキと共に暮らすための能登の米作りー珠洲市三崎町粟津ー」（25分）

宇都宮 大輔 氏（珠洲市自然共生室 自然共生研究員）

ゲスト：粟津村おこし推進協議会

NPO 法人 能登半島おらっちゃんの里山里海

「希少種と共に暮らすための地域づくり・体制づくりとは - コウノトリの事例から -」（15分）

菊地 直樹 氏（人間社会研究域附属先端観光科学研究センター 准教授）

<休憩5分>

### **意見交換会**（15分）

奥能登でトキと暮らす地域づくりについて考える

### **閉会挨拶**